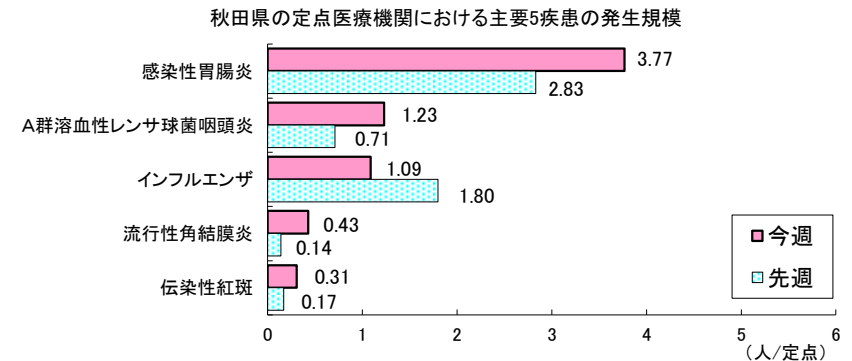




【第20週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、秋田中央、横手で増加、湯沢で同規模、秋田市、由利本荘、大仙で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.7倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、横手で同規模、大仙で減少しています。
3. インフルエンザは、県全体で39%減少しています。保健所別では、北秋田、横手で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減				
RSウイルス感染症	0.06	0.11	↗		0.14	↗									0.25		↘							0.33	1.00	↗					
インフルエンザ	1.80	1.09	↘	1.55	0.36	↘	1.86	0.86	↘		0.67	↗	1.00	0.75	↘	1.00	0.17	↘	0.83	0.50	↘	3.14	2.43	↘	2.40	2.60	↗	3.60	2.00	↘	
咽頭結膜熱	0.14	0.09	↘	0.57	0.14	↘		0.25	↗																		0.25	0.25			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	1.23	↗	1.43	1.57	↗	0.25	1.75	↗						1.25	2.50	↗	0.25	0.75	↗	1.00	0.50	↘	0.33	0.33		0.75	2.25	↗		
感染性胃腸炎	2.83	3.77	↗	4.29	3.71	↘	3.00	9.50	↗	3.50	4.00	↗	4.00	7.00	↗	2.25	2.50	↗	1.75	1.50	↘	2.25	2.00	↘	1.00	1.67	↗	2.50	2.50		
水痘	0.20	0.03	↘	0.43		↘	0.25		↘												0.25	0.25		0.33		↘	0.25		↘		
手足口病																															
伝染性紅斑	0.17	0.31	↗	0.43	0.29	↘	0.50	1.75	↗																0.33	↗	0.25	0.25			
突発性発しん	0.11	0.14	↗	0.14	0.29	↗	0.25		↘					0.33	↗				0.25		↘	0.25	0.25						0.25	↗	
ヘルパンギーナ		0.11	↗																												
流行性耳下腺炎	0.11	0.09	↘							0.50		↘		0.33	↗		0.25	↗	0.75		↘		0.25	↗							
川崎病	0.03	0.03																						0.33	0.33						
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*			
流行性角結膜炎	0.14	0.43	↗	0.33	0.67	↗				*	*		*	*		*	*		1.00	↗						*	*				
細菌性髄膜炎																*	*														
無菌性髄膜炎																*	*														
マイコプラズマ肺炎																*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.25	0.25													*	*												2.00	2.00		

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾患に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・四類感染症のつがが虫病が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-19週	20週	21週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	7149	33	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	2		
三類	細菌性赤痢	31		
	腸管出血性大腸菌感染症	377		
	腸チフス	13		
	バラチフス	10		
四類	E型肝炎	176	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	166	7	
	エキノкокクス症	4		
	黄熱			
	オウム病	10		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	18		
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-19週	20週	21週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	2		
	つがが虫病	48		1
	デング熱	108		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	22		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	13		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	480	6	1	
レプトスピラ症	3			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	310	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	107		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	646	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	20		
	急性脳炎	399	4	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	54		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	335	3	
	後天性免疫不全症候群	396		
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	235	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	20		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1460	11	
	水痘(入院例に限る)	155	5	
	先天性風しん症候群	2		
	梅毒	2175	8	
	播種性クリプトкокクス症	49		
	破傷風	28		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	28		
百日咳	5597	43	1	
風しん	1486	2		
麻しん	486			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	13			

トピック

<6月1日~7日はHIV検査普及週間です！>



毎年、6月1日から6月7日はHIV(ヒト免疫不全ウイルス)検査普及週間に指定されており、国や各自治体では検査の普及に向けた取組を行っています。秋田県も「エイズって知ってる? ~保健所で受けようエイズ・性感染症検査~」をキャッチフレーズに、各保健所でエイズ相談・検査を実施します(表)。

■相談・検査と予約方法

検査は県内の各保健所で**無料・匿名**で受けることができます。あらかじめ電話で予約の上、相談者ごとに調整した時間に個別に相談・検査を実施します。採血から結果説明まではおよそ1時間程度です。また、この期間以外にも各保健所では定期的に相談日を設定しているほか、県内エイズ治療拠点病院でも検査を受けられます(有料:1,500円程度)。詳しくは秋田県保健・疾病対策課ウェブサイト等で御確認ください。

■HIV感染者・エイズ患者新規報告数

2019年3月に発表されたエイズ動向委員会の速報値によると、2018年における全国の新規報告数は1,288人で、このうち約3割(367人)が診断時に既にエイズを発症していました(図)。HIV感染を早期に発見し、治療を開始すれば、これまでどおりの日常生活を送ることが可能です。この機会にぜひ検査を受けてみませんか?

表 県内保健所の相談・検査実施日(2019年6月)

保健所	実施日	問い合わせ先
秋田市保健所	6月4日(火)	018-883-1180
	6月11日(火)	
	6月20日(木)	
	6月27日(木)	
大館保健所	6月19日(水)	0186-52-3952
北秋田保健所	6月6日(木)	0186-62-1166
	6月25日(火)	
能代保健所	6月11日(火)	0185-52-4333
	6月18日(火)	
秋田中央保健所	6月17日(月)	018-855-5170
	6月24日(月)	
由利本荘保健所	6月4日(火)	0184-22-4122
	6月18日(火)	
大仙保健所	6月5日(水)	0187-63-3404
	6月19日(水)	
横手保健所	6月5日(水)	0182-32-4006
	6月17日(月)	
湯沢保健所	6月6日(木)	0183-73-6155
	6月19日(水)	

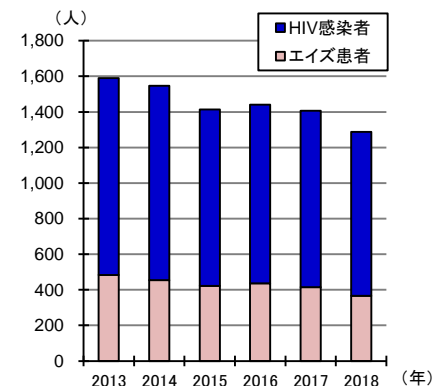


図 全国のエイズ患者及びHIV感染者数の推移 (エイズ動向委員会発表, 2019年3月22日時点)

つがが虫病情報

つがが虫病の発生報告が1件ありました。

No.1

届出年月日	2019年5月20日
患者の住所	青森県
患者の年齢	80代
性別	女性
症状	発熱、刺し口、肺炎
診断年月日	2019年5月18日

※相談・検査は、この期間以外にも年間を通じて実施しています。定期的に相談・検査実施日を設けていますので、上記問い合わせ先や、秋田県健康福祉部保健・疾病対策課ウェブサイト等で御確認ください。



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日~)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

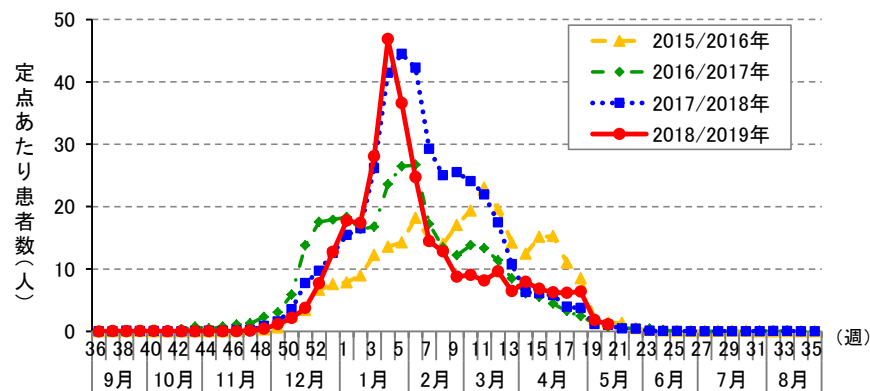


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が1件報告されました。

No.	所在地	施設名称	発生届出日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
178	美郷町	美郷町立六郷わくわく園	5/13	184名のうち9名	55名のうち2名	11名

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(5月19日時点)の報告数

178施設: 社会福祉施設49、保育所・幼稚園111、病院18

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2018/2019シーズン

秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
5/13~5/19 (20週)	累計	5/6~5/12 (19週)	累計
1	386	57	20,551

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。



感染性胃腸炎情報

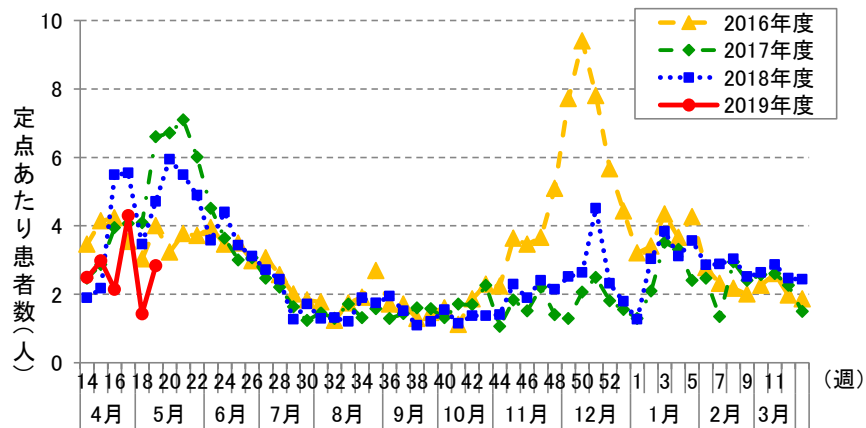


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が8件ありました。

No.	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
8	大館市	大館八幡こども園	5/13	168名のうち 18名	46名のうち 1名	19名	5/8 ~ 5/13	発熱、嘔吐、下痢	ロタウイルス
9	由利本荘市	ショートステイ わかば	5/14	64名のうち 12名	36名のうち 1名	13名	5/9 ~ 5/13	嘔吐、下痢、発熱	-
10	湯沢市	皆瀬保育園	5/14	44名のうち 4名	20名のうち 0名	4名	5/10 ~ 5/14	嘔吐、下痢	ノロウイルス
11	大館市	有浦保育園	5/15	132名のうち 10名	41名のうち 2名	12名	5/7 ~ 5/15	嘔吐、下痢	ノロウイルス
12	鹿角市	花輪さくら保育園	5/17	169名のうち 18名	44名のうち 0名	18名	5/10 ~ 5/17	嘔吐、下痢	-
13	大館市	扇田保育園	5/17	90名のうち 9名	34名のうち 1名	10名	5/15 ~ 5/17	嘔吐、下痢	ノロウイルス
14	潟上市	追分保育園	5/17	169名のうち 11名	55名のうち 0名	11名	5/13 ~ 5/17	嘔吐、下痢	ノロウイルス
15	由利本荘市	独立行政法人 国立病院機構 あきた病院	5/17	329名のうち 7名	413名のうち 4名	11名	5/11 ~ 5/17	嘔吐、下痢、発熱	-

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○2019年度(5月19日時点)の報告数

15施設 有症者217名:社会福祉施設2、保育所・幼稚園11、病院1、その他1

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

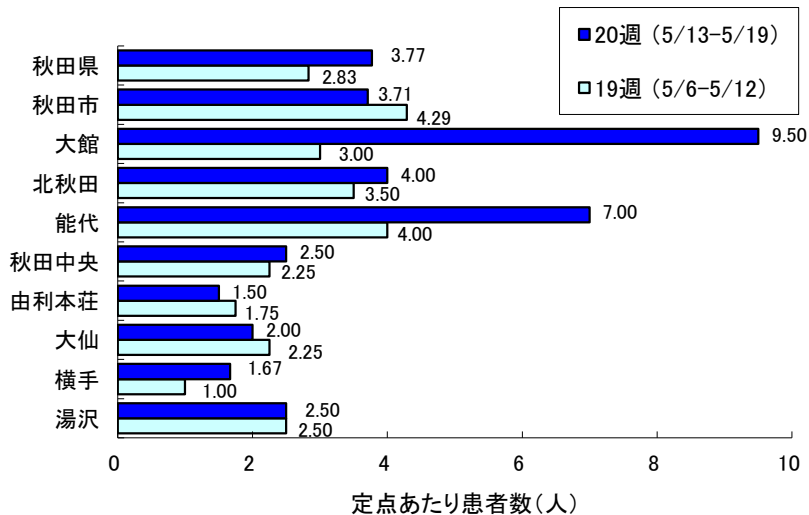


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		